

統計グラフコンクール制作指導

岡崎市立城北中学校

1 城北中学校の統計教育のあゆみ

岡崎市は、昭和50年ごろから、統計教育を学校教育の中に取り入れており、昭和60年代になると、児童生徒の情報活用能力の育成を目指して、統計グラフづくりが多くの学校でさかんになってきた。城北中学校はその先進的な学校として、今日まで約40年間、統計グラフづくり継続してきている。

パソコン統計グラフの部が設定された当初、本校のマルチメディアに関わる研究実践と関連し、多くのパソコン作品が出品された。平成8年、9年には全国コンクールで入賞を果たし、平成9年の作品は特選を受賞した。

2 統計グラフ作品作り

生徒の関心・意欲を生かしたテーマづくりから指導を行い、取り扱うテーマは年々深まりをみせ、日常に起こりうる身近な疑問から社会問題まで幅広いものとなっている。デザインにおいては、紙面上にストーリー性をもたせて、レイアウトなどテーマに沿った構成を心掛けている。グラフについては、数値や調査内容について精査し、より正確なグラフづくりを目指している。

夏休みの選択課題の一つとして位置付け、学校全体での展示の場を設けているため、他の生徒の興味関心も高い。

3 統計グラフ制作指導

① テーマ決め

自分の好きなことや興味のあること、身の回りのこと、社会で話題になっていることなどから探す。

また、そのテーマから何が伝えられそうかを一緒に考え、メッセージ性のあるテーマになるように指導する。

② データ(資料)集め

データの集め方は2通りあり、1つはアンケートや観察を行い、実際に自分で作るやり方。もう1つは、

本や雑誌、新聞、インターネットなどを利用して、自分のテーマに関する資料を探すやり方がある。

(1) アンケート作り

テーマに沿ったアンケートを作る。アンケートの質問は、答えやすい、分かりやすい、見やすいの3つをポイントとしている。

質問は8~10個くらいを目安とし、ポイントになる問いには必ず理由を聞く問いなどをつけて詳しくするように指導する。

(2) インターネットからの資料収集

内容が「環境」「災害」「事故」など愛知県や日本全国の統計情報を必要とする場合に、インターネットからの資料収集を薦めている。

③ 作品作り

グラフはエクセルを使って作成する。グラフの特長を考えて、グラフの種類を選択させる。

レイアウトでは、いろいろなグラフの種類があるようにし、グラフの数も8つを限度としている。

4 最近の指導作品の成果(数値は入賞点数)

- 平成23年度 県金1・銅2
 - 平成24年度 県金2・銀2
 - 平成25年度 県金1・銀2
 - 平成26年度 全国入選1 県金1・銅1
- (平成23~25年度 学校感謝状を受ける)



第62回統計グラフ全国コンクール入選
「今、人生の岐路 羽ばたけ15歳」